

2023年度 日本工学院専門学校											
電子・電気科/電気工事コース											
キャリアデザイン2											
対象	2年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	内田寿彦			実務 経験	有	職種	電子・電気科 専任教員				
担当教員紹介											
<p>日本工学院専門学校卒業後、総合電気設備工事会社にて一般住宅からビル・マンション・工場の内線工事に従事。職長を経験後、施工管理技士として主に大手建設会社やデベロッパーから受注した現場の施工管理業務を行う。</p> <p>自営である住宅設備会社に転職後は大手都市ガス会社の委託業務の他、屋内電気配線工事や住宅リフォーム・住宅設備機器の販売や管理業務に従事。同時に日本工学院専門学校電子・電気科の非常勤講師を兼任。専任教員として転職後は主に電気工事実習や高圧電気技術などの科目を担当。</p>											
授業概要											
<p>この科目を受講する学生は、社会的活動が協働の場であることを理解し、これまで体験してきた競争の場とは異なる考え方や能力が求められることを意識できるようになる。21世紀の「知識基盤社会」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになるのがねらいである。</p>											
到達目標											
<p>この科目では、学生が、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標にしている。</p>											
授業方法											
<p>この授業では、個人ワークグループを採り入れる。他人が発する情報をどのように受け止め、理解するか、更にそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「ジェネリックスキル」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「キャリアデザイン」を自分自身の言葉で語り、構築できるようになることを目指す。</p>											
成績評価方法											
<p>試験 60% 試験と課題を総合的に評価する          課題 30% 授業内容の理解度を確認するために実施する          平常点 10% 積極的な授業参加度、授業態度によって評価する</p>											
履修上の注意											
<p>この授業では、学生間・教員と学生のコミュニケーションを重視する。キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。社会の動きや大学生の状況などを概説するので、自分でも、情報を収集し、起こっている事象の原因や今後の推移について考えること。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	仕事や働き方を選ぶ基準について理解する										
第2回	自分が大切にしていることが何かを把握する										
第3回	業界から求められていることを理解する										
第4回	人に対するサービスを中心に業種と企業について理解する										
第5回	事物に対するサービスを中心に業種と企業について理解する										

2023年度 日本工学院専門学校	
電子・電気科/電気工事コース	
キャリアデザイン2	
第6回	自分の生活との関わりから職種を理解する
第7回	職業の意味と多様性について理解する
第8回	読んで理解する力を養う
第9回	聴いて理解する力を養う
第10回	話して自分を伝える力を養う
第11回	書いて自分を伝える力を養う
第12回	キャリア・コンサルタントによる講演
第13回	言葉での意思疎通が出来る
第14回	職場で必要とされるコミュニケーションが出来る
第15回	全体のまとめ